

教科名【 英 語 】

学習目標（「身に付けたい力」）

- ・英語の音声、表現、文法などを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことの5領域において、実際のコミュニケーションで活用できる技能を身に付ける。
- ・異文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学年	第7学年	第8学年	第9学年
時数	年間 140 時間	年間 140 時間	年間 140 時間
1 学期	●Unit 0 Nice to Meet You □クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。 ●Unit 1 Hello, Everyone! □自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。 ●Unit 2 Our New Teacher □身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる ●Unit 3 Our School □知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。 ●Unit 4 Friends in New Zealand □数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。 ●Stage Activity 1 “All about Me” Poster □自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	●Unit 0 My Spring Vacation □クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。 ●Unit 1 What can we experience on a trip? 題材 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 活動 旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。 ●Unit 2 What is local food? 題材 日本や外国の料理のことを知り、食文化の歴史や変化について考える。 活動 好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。 ●Unit 3 What kind of job are you interested in? 題材 自分の将来像や夢について考える。 活動 将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 ●Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food □自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 ●Let’s Read 1 History of Clocks □説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	●Unit 0 Discover a New Side of Classmates □クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。 ●Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 題材 日本のポップカルチャーについての理解を深め、日本文化が持つ魅力について考える。 活動 日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。 ●Unit 2 How do you choose your clothes? 題材 エシカルファッションの取り組みを通して、人や環境にやさしい社会の実現について考える。 活動 人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。 ●Unit 3 How can we save animals? 題材 絶滅のおそれのある動物について知り、自分たちにできることを考える。 活動 絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。 ●Stage Activity 1 Discover Japan □日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 ●Let’s Read 1 A Mother’s Lullaby □物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。
2 学期	●Unit 5 My Brother in Hawaii □自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ●Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. □自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 ●Unit 7 An Online Tour of the U.K. □今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ●Unit 8 Think Globally, Act Locally □したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ●Stage Activity 2 My Hero □好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、	●Unit 4 What is important in a homestay? 題材 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 活動 海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。 ●Unit 5 What design is good for everyone? 題材 だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 活動 だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。 ●Unit 6 How can we make a good presentation? 題材 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。 活動 身近なトピックについて調査を行い、データ	●Unit 4 How can we help each other in a disaster? 題材 防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持つ。 活動 防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。 ●Unit 5 What makes a good leader? 題材 ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考える。 活動 ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。 ●Stage Activity 2 My Activity Report □これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。

	説明したりすることができる。	を比べて発表することができる。 ●Stage Activity 2 My School and School Life □自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。 ●Let's Read 2 A Glass of Milk □物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	●Unit 6 What does it mean to be a global citizen? 題材 国をこえて助け合うことの大切さを知り、自分に何ができるのかを考える。 活動 国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。 ●Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate □主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。
3 学 期	●Unit 9 Winter Vacation □過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ●Unit 10 This Year's Memories □過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。 ●Stage Activity 3 My Favorite Event This Year □思い出に残った出来事について発表することができる。	●Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 題材 世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。 活動 世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。 ●Stage Activity 3 Let's Have a Discussion □自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。 ●Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet □人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	●Let's Read 2 Power Your Future □エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べるができる。 ●Let's Read 3 Coloring Outside the Lines □伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べるができる ●3年間の総復習 ○学んだ知識を使い、聴いたり、読んだり、話したり書いたり、できる

評価の観点と評価内容の予定

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価 方法と内容（全学年）	①ペーパーテスト(定期考査・小テスト) ②パフォーマンステスト(スピーチ・スキット・ディベート・インタビューテスト・課題解決ライティングテスト・課題解決リスニングテスト・課題解決リーディングテスト) 【各学年で扱う文法事項】 7年: be動詞、一般動詞、命令文、助動詞can、疑問詞、数字、代名詞、現在進行形、感嘆文、不定詞、過去形、過去進行形、There is / are、 8年: 未来表現、第4・5文型、助動詞、接続詞、不定詞、動名詞、疑問詞+to、比較表現、受動態 9年: 現在完了形、現在完了進行形、It is (for……) to～、間接疑問文、分詞の修飾、関係代名詞、仮定法	①ペーパーテスト(定期考査・小テスト) ②パフォーマンステスト(スピーチ・スキット・ディベート・インタビューテスト・課題解決ライティングテスト・課題解決リスニングテスト・課題解決リーディングテスト) 【各学年で行うパフォーマンステストの例】 7年: 自己紹介、他者紹介、日記、絵の状況描写、思い出の出来事紹介 8年: 将来の夢、アンケート調査の結果報告、絵の状況描写＋解説、自分の一番好きなものの紹介、自分の街のおすすめスポット紹介、自分の立場を明確にした主張 9年: 環境にやさしい商品の紹介、日本文化紹介、絶滅危惧植物の紹介、取り組んできたことの活動報告、有名人の紹介、ミニディベート	①パフォーマンステスト(スピーチ・スキット・ディベート・インタビューテスト・課題解決ライティングテスト・課題解決リスニングテスト・課題解決リーディングテスト) ②授業観察(振り返りシートによる自己評価と、授業の取り組み姿勢や提出物の自己課題に応じた活用状況の確認) 【評価例】 知識・技能 ・定期考査で課題として残った、例えば『不規則変化動詞の活用』をノートに練習するなど、自らの学習を調整し、学期の最後には課題の解決が見られるよう粘り強い取り組みが見られた。 ※これまで提出物を出せば評価された面があるが、新しい評価方法では、提出物を自分の課題に合わせてどう活用したかが評価されることになる。 ・パフォーマンステストにおいて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを理解した上で、粘り強く課題解決をしようとする姿が見られた。 思考力・判断力・表現力 ・パフォーマンステストにおいて、設定された場面でコミュニケーションが成立する条件を満たそうとする主体的な態度が見られた。また、パフォーマンステストの自己評価の中に何を意識すれば自身の言語活動におけるパフォーマンスをさらに高められるかが書かれており、その様子を日々の授業で実際に確認でき、自己調整が図れていると判断できた。